
サイレントワールド～君と僕だけの世界～

並盛りライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

サイレントワールド～君と僕だけの世界～

【Zコード】

N1365C

【作者名】 並盛りライス

【あらすじ】

僕は、しゃべり過ぎていつも後悔している。君はただ沈黙している。誰にも理解されない僕らは、やがて一人だけで閉じ籠るようになった。

君がレズだつて聞いた時だつて僕は驚いたりしなかつた。

君の体は、僕を一回ほど受け入れて、その二回とも君の心は拒絶した。

僕はしゃべり過ぎたのもしれない。今は後悔している。

「僕たちは、今までなんとか騙し騙しやつてきたけど、そろそろ世界は僕たちを別れさせたいらしいね」

僕たちを繋ぎ止めるのは、共犯者めいたあの日の思い出だけだ。
「分かった、もう君も自由になれよ。勝手な事ばかり言つてると思うけど、大抵、勝手な事ばかり言つてる連中が作った不条理な世界の中で僕らは生きてきたんだしね」

僕は、いつでもしゃべり過ぎていた。君が何か言おうとする度に、君がどれだけ傷付いているのかを知りながら。

君の方は、とても無口で、一緒に居る人間は、ほとんど、この沈黙に耐えきれなくなる。

感情が乏しい訳じゃないのだが、いつでも小さな声で自信が無さそうに、しゃべる。そして沈黙。この沈黙の中でいつたい君はいくつの言葉を葬つたのだろう。

そして彼女は

「私は……」

と言つて黙り込んだ。

もう、このやりとりにも飽々している。うんざりだ。

「所詮、これは僕自身の問題であり、君自身の問題でもあるんだ。僕たちは上手くやつてきた。でもだからって、これからも上手くいき続けるとは限らないだろ」

君は無言で、何か言いたそうに黙る。その沈黙の濃度が僕を殺しそうになる。「君が人付き合いが苦手だと、病的に臆病なのが嫌つて訳じやないんだ。僕はこの通りしゃべり過ぎるから、誰にも理

解してもらえずに苦しんでる。けどね、こんな不完全な僕らが、代替物を求めるみたいにお互いを愛し合つなんて不自然だろ」

君は僕の話を聞いている。僕は君が沈黙の中で発するシグナルを見逃さないように君をじっと見る。

「……しか居ないんだよ」

「それは僕らが、周りを見てないだけだろ。絶対に理解されないって思つて絶望するのが嫌だから、一人の世界に居るのが楽だからつて閉ざしてただけだ」

「外は嫌」

君は拒絶する。その意思だけは沈黙の中でも強く表れていて。「こんな愛し合い方したつて救われないし、どうにかしたいって思うだろ。このままで良いなんて思わないだろ」

「駄目だよ……もう遅いの」

「大丈夫、時間をかけてやれば、僕らは変われる。必ず、僕や君の事だつてみんな理解してくれる」

「違うの……もう遅いの」

「え？」

「外……もう誰も居ないよ……私たちの他……したじやない」

僕は、幾重にも封をしてある厳重な扉の鍵を、一つずつ取り外し、ようやく外に出る。

そこは、寂しそうな月が何もない無限の荒野を照らしているだけの世界だった。

「一人さえいれば……何もいらなって言つたから……一緒にボタンを押したじやない」

「そういえば何年も前に、

「もし、この扇風機の強のボタンを押せば世界を一瞬で消し去る事ができるならどうする?」
と僕は言つた気がする。

君は黙つて、強のボタンを押したんだつけ。冗談だつたのに。

無限に広がる荒野の中で、僕は

「おい、誰か居ないのか」と叫んでみたが、強い風がびゅうと吹いただけで、何の音もしなかつた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1365c/>

サイレントワールド～君と僕だけの世界～

2010年10月11日15時59分発行